

津波災害への対応

総合教育会議資料 1・1
令和元年12月6日
総務部危機管理課

(1) 基本的周知事項

- ・ 津波災害を知る
- ・ 日本海の津波の特徴を知る
- ・ 津波警報等を知る
- ・ 津波からの避難を知る

大津波警報なら

最大浸水想定を超えた避難を

1

(2) 現在の取り組み

- ・ 津波災害警戒区域の指定
津波避難促進施設の指定（9施設）
※浸水区域内の要配慮者施設について
避難計画の策定、避難訓練が義務化
- ・ 研修会、出前講座の開催（防災教育）
(1) の周知

2

日本海津波断層モデル地震(H28.3発表)

(条件 F30断層冬18時)

○建物被害

全壊 7,630棟

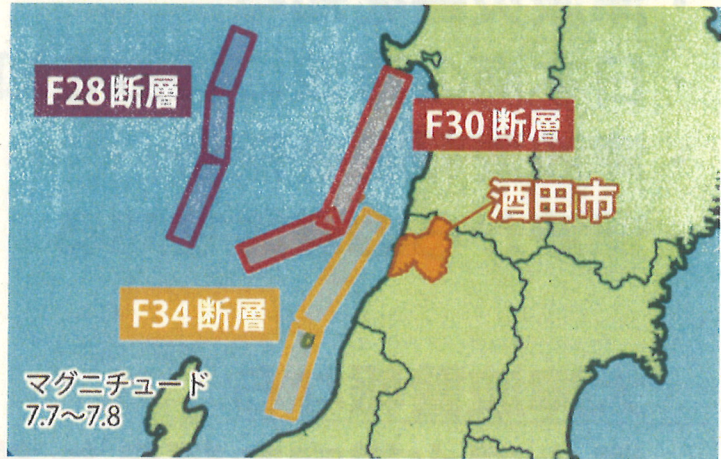
半壊 12,482棟

○人的被害

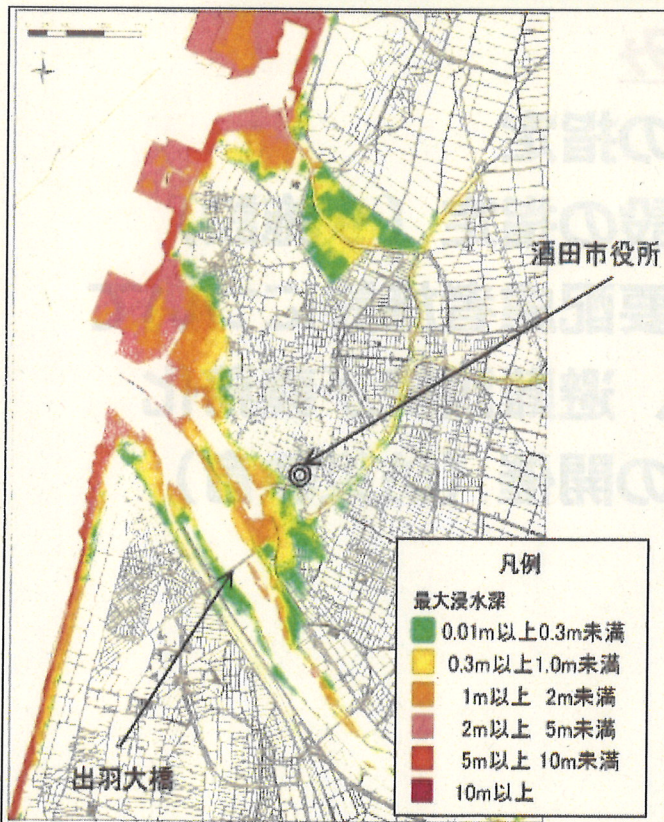
死者 1,272人

負傷者 2,139人

■最大避難所避難者
16,368人



③津波災害



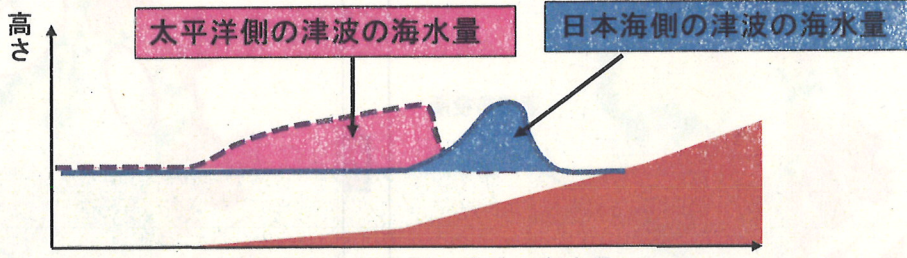
地区別の津波最高水位と到達時間

	最高水位 (m)	到達時間 (分)
宮海	11.6	11
酒田港	13.3	11
宮野浦	9.7	13
浜中	10.4	12
勝浦	12.1	2

日本海の津波の特徴

① 津波の海水量は少ない

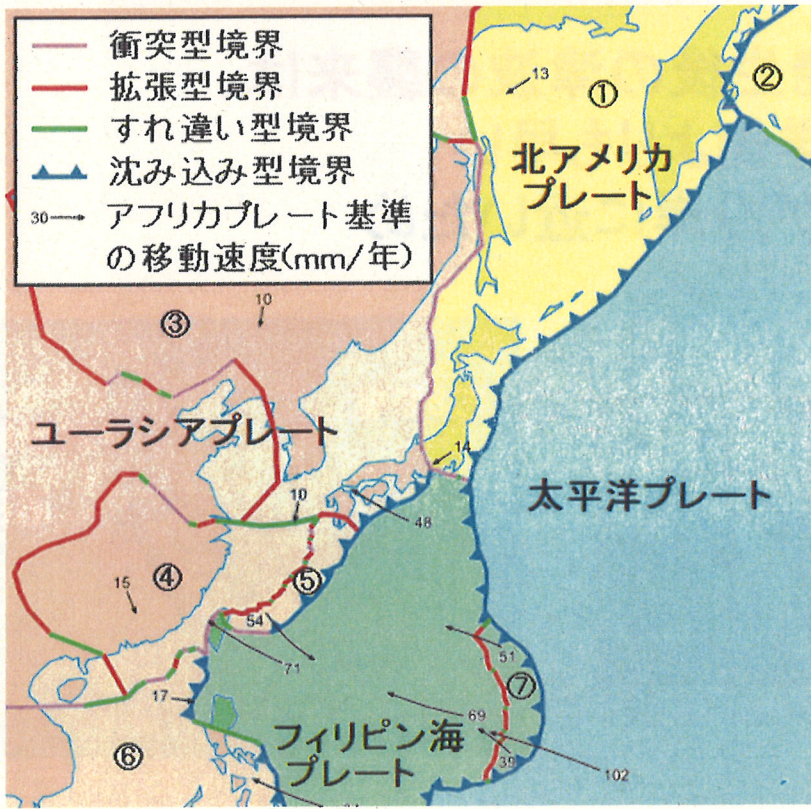
太平洋側の津波と比べると、断層の規模・動きが小さいので、津波の海水量は少ない。



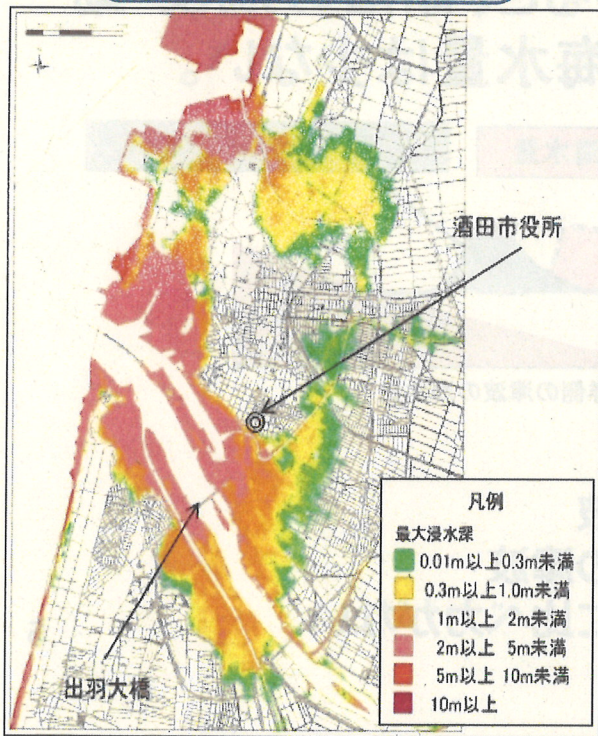
日本海側と太平洋側の津波の海水量

- ① 日本海側は、断層型の津波
- ② 太平洋側は、プレート型の津波
- 日本海側は、太平洋側に比べ力がない

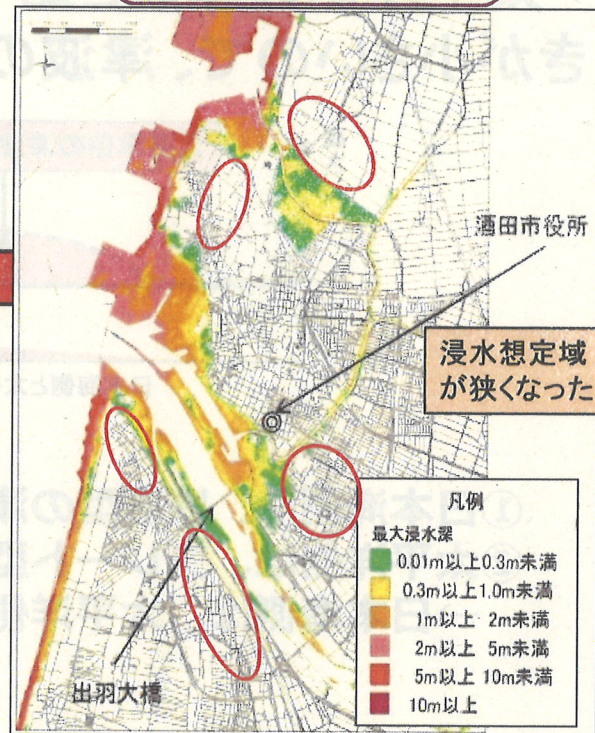
日本海の津波の特徴



平成25年
の地震・津波想定



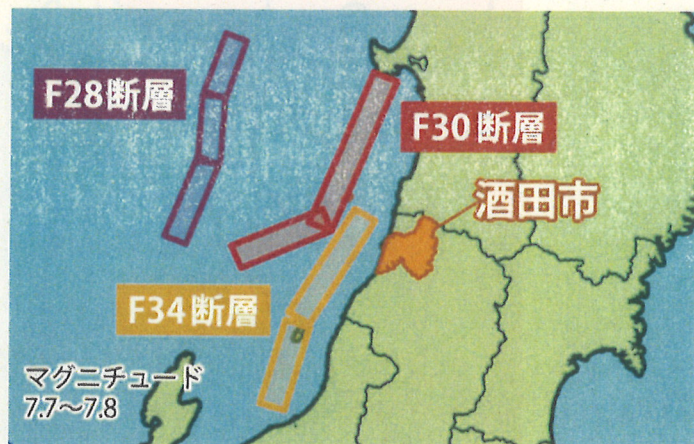
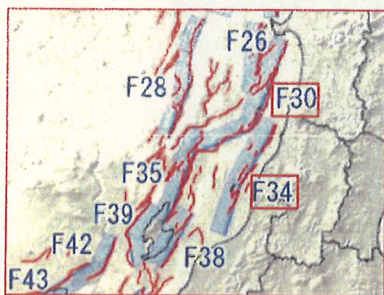
平成28年3月
現在の地震・津波想定



7

日本海の津波の特徴

- ② 地震発生後の津波の襲来は、
太平洋側よりも早い
震源が沿岸に近いため

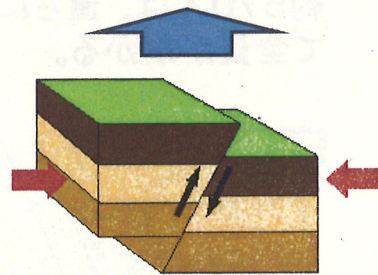


8

日本海の津波の特徴

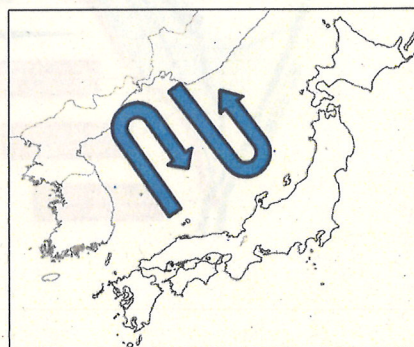
③ 地震の規模に比べて津波が高くなる

震源が浅く、断層が高角であるため、持ち上がる海水の体積が大きくなる



④ 津波は繰り返し、収まりにくい

日本列島と大陸で何度も反射するため、警報が長時間継続する



9

津波警報等と避難行動

警報等	発表される津波の高さ		取るべき行動
	数値での発表 (津波の高さの予想区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報 (特別警報)	10m超 (10m~)	巨 大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなどの安全な場所へ避難して下さい。ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
	10m (5m~10m)		
	5m (3m~5m)		
津波警報	3m (1m~3m)	高 い	海の中にいる人は、ただちに海から上がって海岸から離れて下さい。
津波注意報	1m (20cm~1m)	(表記しない)	

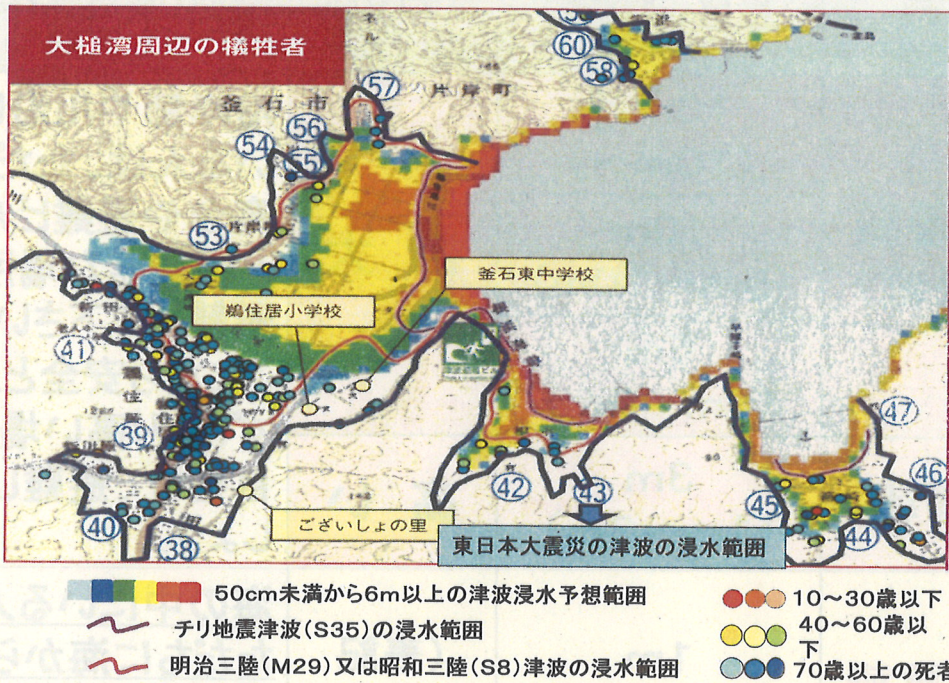
10

釜石の奇跡【津波避難三原則の実例】

津波襲来時、釜石東中学校と鶴住居小学校の生徒・児童約570人は、直ちに避難し、更により安全な場所へ避難して全員が助かる。



釜石の被害の状況



津波避難の三原則

【釜石の奇跡】 片田敏孝教授

① 想定にとらわれるな！

相手は自然、想定を超える事態も当然あり得る。津波浸水区域を示したハザードマップを鵜呑みにしない。

② 最善を尽くせ！

「ここまで来れば大丈夫だろう」ではなく、より安全な場所まで避難する等、その時できる最善の行動をとる。

③ 率先避難者たれ！

まず自分が率先して避難する。その姿を見て他の人も避難し、結果的に多くの人を救うことに繋がる。

13

大川小学校最高裁判決を受けて

- 1 P1 (1) 基本的周知事項の周知の徹底 (市全体)
- 2 学校と地域が連携した津波避難訓練等の実施 (学校関係)

津波浸水区域 なし

バッファゾーン 宮野浦小、浜田小、六中

近接地域 亀ヶ崎小、若浜小、富士見小、浜中小、四中

※上記学校については、校舎棟の垂直避難が基本

- 3 津波工学専門家の講演会開催 (関係機関等)
東北大学災害国際研究所長 今村文彦 氏

14

